

## 募 集 要 項

氏 名：久保 亮一	研究室：第4研究室棟103室
専攻分野：戦略論、ベンチャービジネス論	
演習テーマ：企業家能力の育成	E-mail： <a href="mailto:kubo@cc.kyoto-su.ac.jp">kubo@cc.kyoto-su.ac.jp</a>

### 演習内容・主なテキスト

本演習の目標は、企業家になるための能力を高めることです。企業家は、「ベンチャー企業を立ち上げる起業家」と「企業内で新たなビジネスを立ち上げる人」の両方を含む言葉です。こう書くと、「企業家になるつもりなんてないよ、自分には関係ないよ」、と思う人がいるかもしれませんが、けれども、企業家になるための能力を高めることは、新たなビジネスを立ち上げるのに役立つだけでなく、社会に出た際にも重要になるのではないかと私は考えています。

では、企業家になるために必要な能力とはどんなものがあるのでしょうか？例として、問題発見能力、分析力、発想力、論理的な思考力、行動力、コミュニケーション能力などをあげることが出来ます。本演習では、さまざまな活動を通じて、各自がこのような能力を少しずつ高めていくことを目指します。

学年ごとの学習スケジュールは以下の通りです。

#### <演習1・2>

2年次は、2つの課題に取り組みます。1つは、戦略論や組織論について基礎的な知識をつけることを目的に学習することです。主な内容は、教科書の輪読、議論、グループワークなどです。テキストは、2年次で以下の書籍を輪読しました。沼上(2000).『わかりやすいマーケティング戦略』有斐閣。

もう1つは、2年生・3年生で合同の発表会を12月に行っています。各学年でグループを組んで、社会人の審査員の前で発表し、コメントや評価をもらいます。

#### <演習3・4>

3年次は、ビジネスプラン(事業計画書)をグループで作成してもらい、コンテストに応募することを義務付けています。コンテストの応募前には、大学外部の方の前でプレゼンテーションをしてもらい、コメントや評価をもらう場合もあります。実際のコンテストにおいては、入賞している先輩も複数います。3年次の後期では、ゼミメンバーが関心のあるテーマに関する書籍を通読します(技術戦略、ベンチャービジネス、企業戦略など)。また、通読する箇所に対する理解を深めるために、議論するための材料をグループで考えてきたりしてもらったこともあります。

#### <演習5・6>

4年次では、卒業論文を書くことを目標にします。現状では、卒業論文の代わりとして、ビジネスプランコンテストに応募し、卒業レポートを提出するゼミ生が多いです。

### 教員からの要望

本演習・演習外の活動に対して、積極的に関わることができる人のみを募集します。輪読やプレゼンテーションをする際には、授業前の準備が必要になります。これらの準備を積極的にしっかりとこなせる人を希望します。また、グループワークが多くなりますので、メンバーと協力して取り組むことが必要になります。

#### 履修希望科目

経営学やマーケティング関連の授業を前もって受講している方がいいですが、必ずしも受講している必要はありません。ですが、ゼミに入ったら、それらの科目を受講することを希望しています。

#### 教員の自己紹介

好きなことは、気軽に話せる人と何かをしながら時間を共有することです。具体的には、お酒、旅行、ラーメン食べ歩き、麻雀などがあります。